

参考様式第1号

平成30年度 政務活動費支出伝票(一般)

会派名 公明党函館市議団

伝票番号 /

代表者	経理責任者	支出年月日	区分
		平成30年4月5日	事務費
支払先			支払金額
日立キャピタルNBL株式会社			¥11,340
摘要(品名)	数量	単価	金額
ゼロックス複写機リース料(4月分)	1	11,340	11,340

領収書等は、領収書等貼付欄もしくは別紙に貼付のこと(重ならないよう留意)

【領収書等貼付欄】

No. 47011  
発行日 2018年5月8日

## ◇ 領 収 証 ◇

公明党函館市議団 御中

ご契約番号 : [REDACTED]

ご契約者名 : 公明党函館市議団

¥ 11,340—

(税抜き ¥ 10,500—)

但 リース料として

2018年4月5日 上記金額正に領収いたしました

[REDACTED]  
日立キャピタル NBL 株式会社

東京都港区西新橋一丁目3番1号 西新橋スクエア

発行部署名	検印	担当印
カスタマーサービスセンター	[REDACTED]	[REDACTED]

※金額を訂正したもの及び会社印並びに検印のないものは無効とします。

※再発行は致しません

## 30年度 政務活動支出伝票（旅費）

会派名 公明党函館市議団

伝票番号 2

旅行承認年月日		代表者	経理担当者	支払年月日	区分
平成30年4月2日		○印	○印	平成30年 4月 9日	・調査研究費 ・研修費
No.	氏 名	金額	受領印	受領年月日	
1	松宮健治	65,450円	○印	平成30年4月9日	
2					
3					
4					
支払合計金額		65,450円			

## ◇旅行の目的

- 全国市町村国際文化研修所（JIAM）主催の「第1回市町村議会議員特別セミナー」に参加し、今回のテーマは観光全般となっており、最近の観光戦略の動向や各地の取り組みの情報収集を図るとともに、本市の観光政策に資するため。

## ◇用務地 滋賀県大津市／全国市町村国際文化研修所（JIAM）

旅 行 の 日 程		旅費の内訳（1人当たり）	
4/11	函館市～京都市（前泊）	路線バス、私鉄	バス/伊丹空港～京都駅/往復 2,620円
4/12	京都市～大津市	J R	京都～唐崎/往復 480円
4/13	大津市～函館市	航空賃	
		日 当	7,500円
		宿泊費	
		参加費	6,650円
		その他／パック	飛行機とホテル（1泊）のパック 48,200円
		合 計	65,450円

# 出張報告書

公明党函館市議団

代表 茂木 修 様

平成30年 4月 27日

出張者氏名 松宮 健治



下記のとおり出張したので報告いたします。

記

1 出張期間	平成30年 4月11日 ~ 平成30年 4月13日 (3日間)
2 用務地	<p>① 4月11日 函館市 ⇒ 京都市</p> <p>② 4月12日 京都市 ⇒ 大津市</p> <p>③ 4月13日 大津市 ⇒ 函館市</p> <p>④</p> <p>⑤</p>
3 出張概要	<p>□全国市町村国際文化研修所（JIAM）主催の「第1回市町村議会議員特別セミナー」に出席のため。今回は「観光」をテーマにした、講義となっており、本市の観光戦略に資するための情報収集と、自身の観光全般についての知見を深め、全国の動向を掌握するため。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日時 平成30年4月12日～13日</li><li>・会場 全国市町村国際文化研修所（JIAM） 滋賀県大津市唐崎2丁目13-1</li></ul>
4 所 見	・別紙の通り
備 考	

◇研修会、意見交換会、報告会等の会議（開催・参加）の概要

区分	内 容	
会議等の名称	全国市町村国際文化研修所（JIAM）主催、「平成30年度第1回市町村議会議員特別セミナー」	
会議等の目的	<p>日々目まぐるしく変わりゆく国内外の情勢の中で、地方議会の議員には様々な行政課題について学び、施策を提案することが求められている。今回のセミナーでは、観光をテーマに各分野で活躍中の講師の方の講演を中心に知見を深める内容となっている。経済波及効果の大きい観光は、地域活性化、雇用機会の増大などの効果が期待でき、本市においても観光は大きな分野であり、市の観光施策に十分に資するものである。</p>	
日 時	平成30年4月12日（木）～4月13日（金）	
場 所	<p>全国市町村国際文化研修所（JIAM） 滋賀県大津市唐崎2丁目13-1</p>	
出席者	出席議員氏名	松宮 健治
	講師等の氏名	兵庫県豊岡市長 中貝 宗治 氏 他
	その他参加者	200名
支 出 内 訳		金 額
旅 費	58,800円 × 1	58,800円
参加費	6,650円 × 1	6,650円
合 計		65,450円

全国市町村国際文化研修所（J I A M）主催

「平成30年度 第1回市町村議会議員特別セミナー」に参加して

□11：00～12：00 受付

□12：45～ 開講・日程説明

【講義1】 4／12（木） 13：00～14：30

- ・「豊岡の観光戦略～Local & Global～」
- ・講師 兵庫県豊岡市長 中貝宗治 氏

中貝市長は、豊富な行政経験や議員経験をもとに、かなり戦略的なまちづくりを力強く確信をもって進めている方である。

地方創生については、各地域がかなり真剣に取り組んでいかないと東京に一人負けをしてしまうという危機感を持つべきと真剣に語りかけていた。

「あれもない、これもない」と嘆くよりも、「地域の宝を見つけ、育てていくことが大切だ」と力説された。

豊岡市では、世界の中の豊岡市を目指し、常に発進し続けている。「インバウンドの方々にきていただき、豊岡市のリピーター、観光大使として本国で活躍してもらう」との戦略を立てて、きめ細かな取り組みをしていることは、本市もおおいに学ぶべきである。

もう一つは、「コウノトリと共に生きる～豊岡の挑戦～」を掲げて、コウノトリを復活させて大切な観光資源として育て上げたことである。そのためには、市民に理解を得ながら、市民協働の取り組みの成果とも言える。本市の場合の自治基本条例も制定されており丁寧な取り組みをしていくならば、豊岡市にも負けない市民協働の世界に誇れるものを輝かせていくのではないかと確信した。

【講義2】 4／12（木） 14：50～16：20

- ・「観光立国と地方創生～インバウンドが切り拓く地域の未来」
- ・講師 一般社団法人日本インバウンド連合会理事長 中村好明 氏

中村氏は、「観光立国と醸す力」をキーワードに講義を進められた。米作りの醸造を通して、「『米仕事＝自分・自社の稼ぐための仕事』に加えて、『花仕事＝地域・社会のための公共への奉仕・貢献』の重要性」を強調。

そして、地元のインバウンドの成功には、飲食・物販・宿泊施設・観光拠点、そして行政や観光協会などの公共セクター、これら全ての担い手が有機的に連携して世界に情報を発進し、外客をおもてなししなければならない」と力説。

酒造りのためには、よい米とよい麹が必要である。良い米とは地域資源である。良い米を発酵させて、糖分・アルコールへと「醸す」ためには、その科学反応を引き起し続ける

良き「糀」となる人材が不可欠となる。その人物像は、地域のバラバラの利害を超えて、官民の壁を超えて各要素を統合し、美味しいお酒（一体感のある地域）を醸す力を備えたりーダーである。

「糀」、すなわち醸す人こそが、地域でのインバウンド成功の鍵である。

とりわけ、本市には良い米（地域の資源・宝）はあるので、この米をどれだけ美味しい酒に醸すことができるのか、まず自らが「糀」となれるよう、がんばりたい。

### 【講義3】 4／13（金） 9：00～10：30

- ・「観光・地域振興のあり方を考える～観光は地域を元気にできるか～」
- ・講師 立教大学観光学部教授／観光研究所長 東 徹 氏

東教授は、「観光資源というものはいたるところに眠っている。それを観光対象にするしかたに問題がある」と語りかけ、「住む人々が、地域の光をより自覚する⇒誇り、愛着をもつ⇒訪れる人々にとっても地域の光をよりよく感じさせる⇒そのことが経験価値となる」⇒これが「住んでよし、訪れてよしのまちづくり」と語られた。

具体的には、「地域の宝を観光客と分かち合う」ためにも、「住民が参加するまちづくり⇒満足度が高く⇒人を大きく巻き込む仕組み⇒すなわち、地域振興となる」と力説。

さらに、「交流を盛んにするためにも、訪れる者との交流を重視⇒人も観光資源／その人に会うために訪れる／緩いつながりを大切に」とも語られた。

そして、「来るときはゲスト、帰るときにはファンに ⇒質（経験価値）の高い観光が地域と顧客の関係性を進化させる」と主張には共感できた。

### 【講義4】 4／13（金） 10：50～12：30

- ・「京菓子老舗女将のとっておきのお話」
- ・講師 笹屋伊織女将／京都観光おもてなし大使 田丸 みゆき 氏

田丸女将の話は、老舗の生活の中での得難い体験をもとにした大変興味深いものであります。たくさんの示唆をいただいた。京都の奥深さ、歴史の重みが、国際観光地京都の地位を築いたことに合点がいった。

どこの地域でも観光客へのおもてなしの大切さは呼ばれているが、まだまだ地に足がついたおもてなしになっているかどうか。本市の場合も、全ての観光関連の事業者が胸をはっておもてなしに徹しているか、はなはだ疑問である。

本業の京菓子を通じての日本の美意識が京都そのものであるとの話には納得がいった。

さて、本市の場合は北海道では言うまでもなく最も古い地域であり、本市の歴史と伝統を今後の観光のおもてなしにつなげていけないかと考えさせられた。

全国研第88号  
平成30年3月14日

北海道 函館市議会議長様

公益財団法人全国市町村研修財団  
全国市町村国際文化研修所

学長 松崎茂

滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号

### 研修受講の決定について

先にお申込みいただきました貴所属議員の研修受講について、次のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

つきましては、以下の事項にご留意のうえ、所要の事務手続等についてよろしくお願ひします。

氏名	松宮 健治
コース名	平成30年度第1回市町村議会議員特別セミナー
研修期間	平成30年4月12日（木）～4月13日（金）

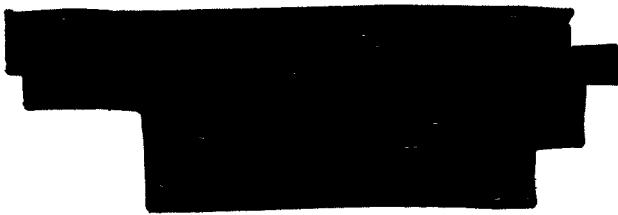
#### 1 研修受講に要する経費の納入について

下記金額を指定期間内に指定口座へ振り込んでください。

なお、本決定通知をもって請求書に代えさせていただき、別途請求書は発行しません。

(1) 納入金額：6,650円 <内訳> 研修費(@1,200) 2,400円  
食費 2,000円  
研修活動費 2,250円

(2) 指定期間： 平成30年4月3日（火）～4月9日（月）

(3) 指定口座：  


注1) 振込依頼書の「ご依頼人氏名欄」は、必ず貴団体名を記入してください。

注2) 貴団体からの振込通知書の送付は不要です。

# JIAM 平成30年度 第1回市町村議会議員特別セミナー

## 豊岡の観光戦略～Local & Global～

4月12日(木)

兵庫県豊岡市長 中貝 宗治 氏

## 観光立国と地方創生～インバウンドが切り拓く地域の未来

一般社団法人日本インバウンド連合会 理事長 中村 好明 氏

## 観光・地域振興のあり方を考える～観光は地域を元気にできるか～

立教大学観光学部教授・観光研究所所長 東 徹 氏

## 京菓子老舗女将のとっておきのお話

笹屋伊織 女将・京都観光おもてなし大使 田丸 みゆき 氏

## 特徴紹介

平成30年4月12日(木)～4月13日(金)(2日間)

全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分

市区町村議会議員の皆さん

2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰府はできませんのでご注意ください。

募集人数を大幅に上回るお申し込みをいただいた場合は、先着順とさせていただきます。そのため、申込期限前に締め切らせていただく場合があります。その場合は、JIAMホームページのトップページでお知らせいたしますので、適宜ご確認ください。

研修所宿泊棟(宿泊型研修) ◯外泊はできません。

6,650円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食1回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。  
なお、事前準備・事前学習および最終日の昼食にかかる費用は含まれておりません。

平成30年3月9日(金)まで

議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申し込みください。  
「Web申込み」が難しい場合は、受講申込書により議会事務局を通じてFAXでお申ください。

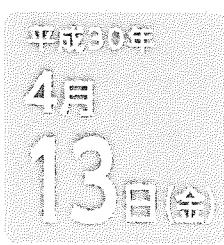
※受講申込書は、議会事務局に送付しております。またJIAMホームページの書類様式集(<http://www.jiam.jp/doc/>)にも掲載しております。

受講の可否については、開講日の約20日前までに通知をお送りします。  
経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。

## 問い合わせ先



平成30年 4月 <b>12日(木)</b>	11:00 ~ <b>開会式+登壇</b> 12:45 ~ <b>講演・主題演説</b>
	13:00 ~ 14:30 <b>豊岡の観光戦略～Local &amp; Global～</b> 兵庫県豊岡市長 中貝 宗治 氏
	14:50 ~ 16:20 <b>観光立国と地方創生～インバウンドが切り拓く地域の未来</b> 一般社団法人日本インバウンド連合会 理事長 中村 好明 氏
	17:15 ~ <b>懇親会</b> 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。



平成30年 4月 <b>13日(金)</b>	9:00 ~ 10:30 <b>観光・地域振興のあり方を考える～観光は地域を元気にできるか～</b> 立教大学観光学部教授・観光研究所所長 東 徹 氏
	10:50 ~ 12:20 <b>京菓子老舗女将のとっておきのお話</b> 笹屋伊織 女将・京都観光おもてなし大使 田丸 みゆき 氏
	12:20 ~ 12:30 <b>閉会式・評議会</b>

### 中貝 宗治(なかがい むねはる)氏 兵庫県豊岡市長

1954年 兵庫県豊岡市生まれ。京都大学法学部卒業後、兵庫県庁に入庁。1991年 兵庫県議会議員に当選、以後3期務む。2001年 豊岡市長に就任。2005年に市町合併による新「豊岡市」の市長に就任。現在4期目。「小さな世界都市」の実現をめざし、コウノトリの野生復帰をはじめ、環境を良くする行動によって経済が活性化する「環境と経済の共鳴」の具体例を積み重ねるなど独自の施策を展開している。  
一般社団法人豊岡観光インバウンド理事長【好きな言葉】『夢はでっかく 根は深く』『願うこと 願い続けること 投げ出さないこと』

### 中村 好明(なかむら よしあき)氏 一般社団法人日本インバウンド連合会 理事長

1963年、佐賀県生まれ。上智大学出身。株式会社ドン・キホーテの広報・IR・マーケティング・インバウンドの責任者を経て、2013年、株式会社ジャパンインバウンドドリューシンス(JIS)を設立し、その代表に就任。国・自治体・民間企業のインバウンド分野におけるコンサルティングや教育研修事業に従事。日本全体のインバウンド振興に取り組む。日本インバウンド教育協会理事、ハリウッド学院大学および神戸山手大学客員教授、日本ホスピタリティ推進協会理事、グローバル戦略委員長、全国免税店協会副会長、みんなの外国语検定協会理事、観光政策研究会会長、京都府観光戦略会議委員、熊本市MICEアンバサダー、一般社団法人日本インバウンド連合会理事長、一般社団法人国際22世紀ひらい会議議長。

### 東 徹(あずま とおる)氏 立教大学観光学部教授・観光研究所所長

1962年3月岩手県陸前高田市生まれ。ゼミ生上酒をこよなく愛する55歳。北海学園北見大学教授、日本大学商学部教授を経て、2010年より立教大学観光学部教授。現在、観光学科長、立教大学観光研究所所長、観光ADRセンター長、総合観光学会常任理事。やまなし観光産業活性化計画策定検討委員会委員長(2015年度)、釜石市観光振興ビジョン策定委員会委員長(2016・2017年度)、豊島区民泊サービスのあり方検討会座長(2017年度)、世田谷区住宅宿泊事業検討委員会副委員長(2017年度)、山梨県観光推進会議(2016年度～現在)、釜石市復興まちづくりアドバイザー(現在)、笠間市観光振興基本計画策定委員会委員長(現在)、笠間市「道の駅」整備推進協議会会長(現在)、観光庁平成29年度産学連携による実務人材育成WG委員(2017年度)等を務めるほか、(財)地域活性化センター全国地域リーダー養成塾、市町村アカデミーの講座等で講義を担当。専門分野は観光マーケティング。主に観光ビジネス、地域ブランド、観光と地域振興などの課題に取り組んでいる。

### 田丸 みゆき(たまる みゆき)氏 笹屋伊織 女将・京都観光おもてなし大使

帝塚山学院短期大学英文学科卒業後、野村證券(株)に入社。その後、中学校の講師を経て、京菓子の老舗(創業1716年)「笹屋伊織」の十代目に嫁ぐ。女将としての仕事は、社員教育、広報、企画、営業、カフェの運営京菓子文化やおもてなしの講演、コラムの執筆など多岐にわたり。学生から、主婦層、社会人、経営者と講演の対象は幅広く、各種団体、他企業の社員研修の依頼など、年間30講演をこなす。  
俳優オリ・コーポレーション取締役社長、京都観光おもてなし大使、京都御幸流華道教授、総本山醍醐寺用達会幹事。

- 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。
- 受講者による講義中の録音・写真撮影は、固くお断りしております。
- 当研修所では、宿泊室を全室禁煙としております。喫煙は所定の喫煙場所をお願いいたします。

平成30年度 第1回市町村議会議員特別セミナー

(敬称略)						
月日	曜日	1時間 (9:00~10:30)	2時間 (10:50~12:20)	3時間 (13:00~14:30)	4時間 (14:50~16:20)	課外
4/12	木		11:00~12:00 受付 11:30~ 餐食 12:45~ 開講・日程説明	【講義1】(13:00~14:30) 豊岡の観光戦略 ～ Local & Global～	【講義2】(14:50~16:20) 観光立国と地方創生～インバウンドが切り拓く地域の未来	16:40~ 入寮オリエンテーション 【講堂】(2階)
				兵庫県豊岡市長 中貝 宗治	日本インバウンド連合会理事長 中村 好明	17:15~交流会 【大食堂】(1階)
					【講堂】(2階)	
4/13	金	【講義3】(9:00~10:30)	【講義4】(10:50~12:20)	京葉子老舗女将の とつておきのお話	12:20~12:30 閉講・事務連絡	
				立教大学観光学部教授 観光研究所所長 東 徹	笠屋伊織 女将 京都銘菓おもてなし大使 田丸 みゆき	
					【講堂】(2階)	

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

(平成30年3月14日現在)

名札の色：色、研修担当：■、■

收入印紙

# TOBU TOP TOURS

AA No. 746588

お客様コード S P 3 5 7 7  
DATE

平成30年4月9日

## 領 収 証 RECEIPT

### FORM OF PAYMENT

現金	✓
CASH	
小切手	
CHECK	
銀行振込	
BANK TRANSF.	
ギフト券	
GIFT TICKET	
クレジットカード	
CREDIT CARD	

RECEIVED FROM 東武伊豆急行 様

領 収 金 額  
FOR THE SUM OF ¥ 48,200

但し 上記金額正に領收致しました

The above sum has been duly received.

発行者印

東武トップアーツ株式会社  
TEL 051-27-0109

※クレジットカードによる領収(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の  
受取に該当しないため、収入印紙の貼付は不要となっています。

**ご搭乗案内**  
BOARDING INFORMATION

マツミヤ ケンジ 様

行先 DESTINATION  
**大阪/伊丹**  
OSAKA/TITAMI

搭乗日 DATE

2018年 4月11日

便名 FLIGHT ANA 746

座席  
SEAT **12C**

照会番号 E807BJ01

携帯電話の電源はお早めにお切りください。

IITZ BP BP9RH0 BN 24

**ご搭乗案内**  
BOARDING INFORMATION

マツミヤ ケンジ 様

行先 DESTINATION  
**東京/羽田**  
TOKYO/HANEDA

搭乗日 DATE

2018年 4月13日

便名 FLIGHT ANA 30

座席  
SEAT **21C**

照会番号 E807BJ02

携帯電話の電源はお早めにお切りください。

IITZ BP BSE BN 53

**ご搭乗案内**  
BOARDING INFORMATION

マツミヤ ケンジ 様

行先 DESTINATION  
**函館**  
HAKODATE

搭乗日 DATE

2018年 4月13日

便名 FLIGHT ANA 557

座席  
SEAT **9C**

照会番号 E807BJ03

携帯電話の電源はお早めにお切りください。

IITZ BP BJC39L BN 121

# 領 収 書

公明党函館市議団 様

金額 6,650 円

但し、

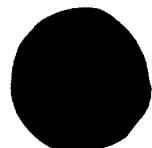
平成30年度第1回市町村議会議員特別セミナー

の 研修に要する経費

として上記の金額を領収いたしました。

平成30年4月10日

公益財団法人全国市町村研修財団  
全国市町村国際文化研修所  
分任出納役 伊藤 茂樹



領収書No. 32

## 30年度 政務活動支出伝票（旅費）

会派名 公明党函館市議団

伝票番号 3

旅行承認年月日	代表者	経理担当者	支払年月日	区分
平成30年4月9日			平成30年 4月20日	・調査研究費 ・研修費
No.	氏名	金額	受領印	受領年月日
1	松宮健治	44,280円		平成30年4月20日
2				
3				
4				
支払合計金額		44,280円		

## ◇旅行の目的

「早稲田大学名誉博士学位贈呈式並びに学位受領者記念講演」に出席し、受領者であるアマルティア・クマール・セン博士の講演を拝聴して、本市の大学教育のあり方や本市の教育活動に資するものとするため。

## ◇用務地 東京都新宿区／早稲田大学大隈記念講堂大講堂

旅 行 の 日 程		旅費の内訳（1人当たり）	
4/23	函館市～東京都	バス	モノレール 羽田空港～浜松町 @490円×2=980円
4/24	東京都～函館市	J R	
		航空費	
		日当	6,000円
		宿泊費	
		参加費	無料
		その他／パック	飛行機とホテル（1泊） のパック 37,300円
		合計	44,280円

◇研修会、意見交換会、報告会等の会議（開催・参加）の概要

区分	内 容	
会議等の名称	「早稲田大学名誉博士学位授与式」並びに「学位受領者記念講演」	
会議等の目的	<p>早稲田大学は文部科学省が推進している「スーパーグローバル大学創生支援事業」の採択されており、大学の国際化に取り組んでいる。</p> <p>今回は、ノーベル経済学賞受賞者のアマルティア・クマール・セン教授の記念講演の中で、厚生経済学と社会的選択の理論及び正義論を中心とする倫理学・政治哲学等の多岐にわたる学術分野に貢献してきた識見を披露された。これから学術学問のあり方、大学の目指すべき方向性を示唆するものとなっている。</p>	
日 時	平成30年4月24日（木）10：40～12：30	
場 所	<p>早稲田大学大隈記念講堂大講堂 東京都新宿区戸塚町1-104</p>	
出席者	出席議員氏名	松宮 健治
	講師等の氏名	アマルティア・クマール・セン／ハーバード大学教授
	その他参加者	100名
支 出 内 訳		金 額
旅 費	44,280円 × 1	44,280円
参加費	無 料	0円
合 計		44,280円

# 出張報告書

平成30年 4月 27日

公明党函館市議団

代表 茂木 修 様

出張者氏名 松宮 健治

印

下記のとおり出張したので報告いたします。

記

1 出張期間	平成30年 4月23日 ~ 平成30年 4月24日 (2日間)
2 用務地	<p>① 4月23日 函館市 ⇒ 東京都</p> <p>② 4月24日 東京都 ⇒ 函館市</p> <p>③</p> <p>④</p> <p>⑤</p>
3 出張概要	<p>□早稲田大学主催の「早稲田大学名誉博士学位贈呈式並びに学位受領者記念講演」に出席のため。今回の受領者はノーベル経済学者受賞者である、ハーバード大学ラモント特任教授及び経済学・哲学教授であるアマルティア・クマール・セン博士の識見を拝聴し、本市の大学のあり方や、教育に資するものとするため。</p> <p>・日時 平成30年4月24日 ・会場 早稲田大学大隈記念講堂大講堂 東京都新宿区戸塚町1-104</p>
4 所見	・別紙の通り
備考	

1

# TOBU TOP TOURS

AA No. 746722

收入印紙

お客様コード 503595

平成30年4月20日



## 領收証 RECEIPT

### FORM OF PAYMENT

RECEIVED FROM トムス通運 様  
 領收金額 THE SUM OF ¥ 37,300-

現金	<input checked="" type="checkbox"/>
CASH	<input type="checkbox"/>
小切手	<input type="checkbox"/>
CHECK	<input type="checkbox"/>
銀行振込	<input type="checkbox"/>
BANK REMITTANCE	<input type="checkbox"/>
ギフト券	<input type="checkbox"/>
GIFT TICKET	<input type="checkbox"/>
クレジットカード	<input type="checkbox"/>
CREDIT CARD	<input type="checkbox"/>



上記金額正に領收取しました  
 FOR

The above sum has been duly received.

**東武トップツアーズ株式会社**  
 東京本社  
 東京都新宿区西新宿6番7号  
 電話 03-327-0109

\*クレジットカードによる領收(お支払い)の場合、印紙税法上の金銭又は有価証券の受取に該当しないため、收入印紙の貼付は不要となっています。



## 搭乗証明書

### CERTIFICATE FOR BOARDING

下記の通り、ご搭乗された事を証明いたします。  
This is to certify that the passenger has been on board our flight as indicated below.

記

様

1. お客様氏名 マツミヤケンジ  
CUSTOMER'S NAME
2. 月日 2018年 04月 23日  
DATE YEAR MONTH DATE
3. 便名 ANA 554  
FLT. NO.
4. 区間 函館 ~ 羽田  
SECTOR
5. 備考  
REMARKS

発行所 HKD (LSN: 2496 ) 発行年月日 2018/04/24 担当 17063

# L



## 搭乗証明書

### CERTIFICATE FOR BOARDING

下記の通り、ご搭乗された事を証明いたします。  
This is to certify that the passenger has been on board our flight as indicated below.

記

様

1. お客様氏名 マツミヤケンジ  
CUSTOMER'S NAME
2. 月日 2018年 04月 24日  
DATE YEAR MONTH DATE
3. 便名 ANA 557  
FLT. NO.
4. 区間 羽田 ~ 函館  
SECTOR
5. 備考  
REMARKS

発行所 HKD (LSN: 2496 ) 発行年月日 2018/04/24 担当 17063

# L

「早稲田大学名誉博士学位贈呈式並びに学位受領者記念講演」に参加して

□日 時 平成30年4月24日（火） 10：40～12：30（受付9：40～）

□会 場 早稲田大学大隈記念講堂大講堂（東京都新宿区）

#### □研修内容

初めに、式辞の中で、鎌田薰総長は、早稲田大学が文部科学省が推奨する「スーパーグローバル大学創生支援事業」に採択され、大学の国際化にとりくんでいることに触れられた。私は、ノーベル経済学受賞者であるハーバード大学のアマルティア・クマール・セン教授に早稲田大学が名誉博士の学位を授与することは、早稲田大学にとっても名誉なことであり、著名なアマルティア・クマール・セン教授を早稲田大学の一員に迎え入れたことを意味するとも言える。このことは、図らずも大学のグローバル化におおいに資するものと言えよう。

翻って、本市には公立はこだて未来大学があるが、もう少し世界各国の著名な学者への名誉博士の学位授与を検討していただき、記念講演会等を通して、公立はこだて未来大学の存在、グローバル化への取り組みを市民の皆さんに理解していただく機会をぜひ提供してもらってはどうだろうか？ 市議会でぜひ提案したいと考えている。

受領記念講演の中で、セン教授は哲学的な深い話をされた。インド出身のセン教授は、仏陀の教えを通して、「正義」「公平」「平等」の観点から、私自身の生き方を揺さぶるものであった。セン教授は、富を偏在や不均衡に敢然と異を唱え、社会の不平等や不正義に目をつぶることなく、社会正義の旗を掲げ、社会悪に挑戦する気概を持っていただきたいと聴衆に語りかけられたいたのが大変印象に残った。

正直なところ、ノーベル経済学賞受賞者であることから、難しい経済学の話かと思っていたが、哲学的、倫理的な講演であり、仏陀の教えが根底にあり、とても新鮮な講演であった。このような機会を大学ばかりではなく、一般市民の方を対象に本市でも企画できないものかと考えている。

# 早稻田大学名誉博士学位贈呈式次第

## *Honorary Doctorate Conferral Ceremony*

2018年4月24日  
早稻田大学大隈記念講堂大講堂

*April 24, 2018  
Okuma Auditorium  
Waseda University*

- |  |   |
|--|---|
| 1 開式   | 教務部長 古谷修一   |
| <i>Convening of the Ceremony</i>                                     | <i>Shuichi Furuya, Dean of Academic Affairs</i>   |
| 2 式辭   | 総長鎌田薰   |
| <i>President's Address</i>   | <i>Kaoru Kamata, President</i>  |
| 3 学位記・学位章贈呈  |   |
| <i>Conferral of the Honorary Doctorate of Laws and Academic Hood</i> |   |
| 4 学位受領者記念講演  | ハーバード大学ラ蒙ト特任教授及び<br>経済学・哲学教授<br>ノーベル経済学賞受賞者<br>アマルティア・クマール・セン   |
| <i>Recipient's Address</i>   | <i>Dr. Amartya Kumar Sen,<br/>Thomas W. Lamont University Professor<br/>and Professor of Economics and Philosophy,<br/>Harvard University</i> |
| 5 校歌齊唱   |   |
| <i>Alma Mater</i>  |   |
| 6 閉式   | 教務部長 古谷修一   |
| <i>Closing of the Ceremony</i>                                       | <i>Shuichi Furuya, Dean of Academic Affairs</i>   |

# 顕彰状

アマルティア・クマール・セン氏は、1933年インド・ベンガル州シャンティニケタンに生まれた。1953年カルカッタ大学ブレジデンシー・カレッジ卒業後、ケンブリッジ大学トリニティー・カレッジに留学し、1955年にB.A.、1959年にPh.D.(経済学)を取得している。1956年、23歳でジャダプール大学(カルカッタ)の経済学部長となり、その後、デリー・スクール・オブ・エコノミックス、ロンドン・スクール・オブ・エコノミックス、オックスフォード大学ナッフィールド・カレッジの経済学教授、さらにオックスフォード大学オールソウルズ・カレッジのドルモンド政治経済学教授を歴任し、1988年ハーバード大学ラモント特任教授及び経済学・哲学教授に就任した。1997～2004年に母校ケンブリッジ大学トリニティー・カレッジの学寮長を勤め、2004年から現職であるハーバード大学ラモント特任教授及び経済学・哲学併任教授の仕事に就いている。この間、1984年にエコノメトリック・ソサイエティ会長、1986～1989年に国際経済学会会長、1989年インド経済学会会長、1994年アメリカ経済学会会長を務めている。

氏は、規範的経済学および正義論を中心とする倫理学・政治哲学など、多岐にわたる学術分野の発展に重要な貢献を行ってきた。規範的経済学への主要な貢献は、厚生経済学の情報的基礎の再構築と社会的選択理論の創造的な革新にあり、1998年にその顕著な貢献を理由にノーベル経済学賞が授与された。氏は、本学名誉博士であるケネス・アロー氏を嚆矢とする社会的選択理論の射程を遙かに越えて研究領域を拡張したが、その過程で効率性至上主義と決別し、所得や富の分配の公平性、社会的選択における自由主義的権利、貧困と飢餓の理論と計測のための分析的枠組みを展開して、血の通った厚生経済学の軌道を敷いた。また社会的選択理論がひとつの福祉の改善や、貧困・飢餓など焦眉の経済問題を解決することに貢献できるように、純粹理論と公共政策との連結環を発見する作業にも、意欲的に取組んできた。その一部は国連開発計画の人間開発指数に繋がり、すべての人類を射程に収めた人間の安全保障の確保と充実といった世界銀行などの経済開発支援に結実した。

氏の規範的経済学の研究は一貫して自由論・権利論・民主主義論など倫理学・政治哲学への体系的な研究に裏打ちされている。ヨーロッパ啓蒙思想以降の正義論の系譜を、ジャン・ジャック・ルソー、イマニュエル・カントを経てジョン・ロールズに継承された社会契約論の系譜と、アダム・スミスに発祥してJ.S.ミル、アーサー・ピグーなどを経てアローに流れ込んだ系譜に大別し、完全な制度の追求ではなく不完全な現実の制度の比較を通じて正義の促進と不正義の抑制に向かう後者の正義論を擁護した。氏の議論は規範的経済学に革新を迫るだけでなく、政治学者、道徳学者の間に大きな波紋を広げている。本学においても、経済学だけでなく、倫理学、政治哲学、法哲学、地域研究などを専門とする教員や学生が氏の研究から多大な影響を受け、理論的研究と実践活動を融合させ人類の今日的課題の解決に向けて努力を続けている。本学における多数にのぼる授業で、氏の理論が紹介され議論されていることからもその影響力が窺える。

また政治経済学術院がこの10年以上にわたり進めてきた、国際政治経済学科の設置、21COE、G-COE、実証政治経済学拠点形成などのプロジェクトに共通するPPE(Philosophy, Politics, and Economics)の理念を体現した社会科学者として想起されていたのは氏であり、各プロジェクトの申請段階から氏の影響は強烈であった。このように、氏の研究教育上の業績は、日本で最初に政治経済学を教え始めた本学の教育と密接に関係しているだけでなく、本学の多くの教員ならびに学生が氏の学術的貢献に、直接的・間接的な影響を受けて研究を進めてきた。このことからも、アマルティア・クマール・セン氏は名誉博士の称号を贈呈されるに誠にふさわしい。

ここに早稲田大学は、アマルティア・クマール・セン氏に  
名誉博士(Honorary Doctor of Laws)の学位を贈ることを決定した。

学問の府に榮えあれ！

大学が栄誉を与えるとする者を讃えよ！  
(*Vivat universitas scientiarum! Laudate quem universitas honorabit!*)

## Commendation

Amartya Kumar Sen was born in 1933 in Santiniketan, India. After graduating from Presidency College, Calcutta, with a B.A. in 1953, he pursued his studies at Trinity College in Cambridge, where he obtained a B.A. in 1955 and his Ph.D in Economics in 1959. Earlier on he was Professor of Economics at Jadavpur University Calcutta, where he became a director of the Department of Economics at the age of 24 in 1956, the Delhi School of Economics, the London School of Economics, Nuffield College at the University of Oxford, and was Drummond Professor of Political Economy of All Souls College, Oxford University. In 1988, he became Thomas W. Lamont University Professor and Professor of Economics and Philosophy, at Harvard University. From 1997 to 2004, he was the Master of Trinity College, Cambridge. In 2004, he returned to Harvard and is currently the Thomas W. Lamont University Professor and Professor of Economics and Philosophy. His professional elections include President of the Econometric Society (1984), President of the International Economic Association (1986-89), President of the Indian Economic Association (1989) and President of the American Economic Association (1994).

Sen's research has significantly influenced various academic areas, including Ethics and Political philosophy developed from Normative Economics and Theory of Justice. His most remarkable contributions to Normative Economics are the re-establishment of the indexes for the measure of well-being in Welfare Economics and his creative innovations in social choice theory, and he was awarded the Nobel Prize in Economic Sciences in 1998 in recognition of his outstanding work in Welfare Economics. While he significantly expanded social choice theory founded by Dr. Kenneth Arrow, an honorary doctorate recipient from Waseda University, he left behind the search above all for efficiency in his studies of Economics and shifted his focus to fairness in distribution of wealth and income, rights-based liberalism on social choice theory and developed an analytical framework for measuring the severity of poverty and famine. Thus, he has laid the foundation of a new approach to more humanized theoretical concepts in Welfare Economics. Seeking to improve social welfare and find solutions to pressing economic matters, such as poverty, famine and hunger, by applying social choice theory, he has passionately explored ways to link pure theory with public policies. He established the Human Development Index (HDI) in the United Nations Development Programme (UNDP), which has greatly contributed to official development assistance by the World Bank and other UN organizations that aim to secure and enhance social security of people all over the world.

Sen's research on Normative Economics is supported by numerous theories, including theories of

freedom, of rights, and of democracy, which have been developed through systematic studies into Ethics and Political Philosophy. He has divided the history of justice theory studies after the establishment of the European Enlightenment philosophy into two groups. One group consists of social contract theory advocates, Jean-Jacques Rousseau, Immanuel Kant and John Bordley Rawls. The other is a group of justice theory formulated by Adam Smith and passed on to John Stuart Mill, Arthur Cecil Pigou and Kenneth J. Arrow. He has supported the latter group's justice theory that does not seek a flawless system but aims to promote justice through comparisons of the existing imperfect systems. His arguments have not only shaken the conventional normative economics ideas but also created a ripple effect on the thinking of political philosophers and ethical philosophers. Under his influence, a great number of faculty members and students at Waseda are working on Economics, Ethics, Political Philosophy, Legal Philosophy and regional studies in pursuit of the integration of theoretical analysis and practical measures to find solutions to global issues today. His theories have been introduced and discussed in many classes at Waseda, which shows the enormous impact of his scholarship.

Ten years of efforts by the Waseda faculty of Political Science and Economics have borne fruit; as a result, Waseda has established the Department of Global Political Economy, obtained governmental grants such as the 21st Century Center of Excellence Program and the Global COE Program, and built the Center for Positive Political Economy as a research base. Those projects were carried out with the mission to advance studies of Philosophy, Politics and Economics, and Sen has been influential enough to have been set as a model economist who embodies the ideal which Waseda has placed as the aim of its efforts from the very beginning of each project. His research has been closely related to the educational aims of Waseda, the first academic institution that began teaching Political Sciences and Economics in Japan, and many of Waseda's faculty members and students have been influenced directly or indirectly by his profound research achievements. Thus, Waseda University expresses its profound respect and admiration for his exceptional academic contributions.

Waseda University hereby confers the degree of Honorary Doctor of Laws on Amartya Kumar Sen.

*Vivat universitas scientarum! Laudate quem universitas honorabit!*

April 24, 2018

Waseda University